

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック
ロータリーのマジック
 第2580地区ガバナー 石川 彌八郎
 隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に

ロータリー活動を
 最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話 絵画で巡る日本の鉄道抒情 ～2022年10月1日、只見線の11年ぶり全線復旧に寄せて～ 鉄道風景画家 松本 忠様

司会進行
 点鐘
 奉仕の理想
 ゲスト・ビジター紹介
 ニコニコボックス報告
 会長報告
 幹事報告
 出席報告

相倉 辰徳会員
 海江田健司会長
 加藤 丈晴会員
 渡辺 和久会員
 相倉 辰徳会員
 海江田健司会長
 中野 広行幹事
 相倉 辰徳会員

土居会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村幹事、浅川副幹事、公式訪問有難うございます。御指導宜しくお願い致します。
 加藤会員 石川ガバナー、本日は公式訪問ありがとうございます。
 木宮会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事様、本日は誠にありがとうございます。

ゲスト・ビジター

第 2580 地区ガバナー・東京福生 RC
 ガバナー補佐・東京麹町 RC
 地区幹事・東京福生 RC
 地区副幹事・東京 RC
 元会員

石川彌八郎様
 須藤 仁様
 木村 敦史様
 浅川誠一郎様
 八木 壮一様

松島会員 石川ガバナー、公式訪問ありがとうございます。
 永井会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川副幹事様、暑い中ようこそおいで下さりありがとうございます。

誕生日祝い

8月15日 藤本 豊大会員
 8月19日 土居 岩生会員
 8月19日 角田 靖会員



西村会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事、本日はご来訪いただき誠に有難うございます。引き続きご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ニコニコボックス

須藤仁様 本年度よろしくお祈いします。
 浅川誠一郎様 地区副幹事として参りました。よろしくお祈いします。
 八木壮一様 長い間お世話になりました。今後ともよろしくお祈い致します。神保町を元気にする会で、11月4日共立講堂で「鷗外、一葉、漱石」のイベントを開きます。お寄り下さい。このような地域に根ざした会には今後もかかわって行くと思っておりますので、よろしくお祈い致します。

岡田会員 皆様残暑お見舞い申し上げます。石川ガバナー本日はありがとうございます。
 角田会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事、ご訪問ありがとうございます。
 渡辺会員 クラブ活動方針や事業計画を改めて共有できた素晴らしい日に感謝です。
 山田会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事様、本日はありがとうございます。
 山下会員 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事の公式訪問ありがとうございます。

海江田会長 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事、本日は当クラブにお越しいたさきありがとうございます。
 中野幹事 石川ガバナー、須藤ガバナー補佐、木村地区幹事、浅川地区副幹事、本日は誠にありがとうございます。

挨拶 ガバナー補佐 須藤 仁様

先程クラブ協議会で、お茶の水 RC の状況や活動計画をお伺いしました。国際奉仕も含め、ハードですがバランスの取れた活動をしていて素晴らしいクラブだと実感しました。会員増強に苦勞されているようですが、ぜひ地区を利用して会員増強を図っていただければ思



計 76,000 円 累計 249,000 円

います。ますますお茶の水が頑張っていただけのように微力ながら応援していきたいと思っております。

挨拶 地区幹事 木村 敦史様

今日はクラブ協議会、準備から設営、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。ガバナー補佐からお話があった通り、すごく奉仕活動が充実していて、やりすぎくらいと思っております。地区補助金をぜひ活用していただきたいのと、できれば財団の寄付の方をしていただければと思います。1年間石川ガバナーとともに地区を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



挨拶 地区副幹事 浅川 誠一郎様

今年度地区の副幹事を仰せつかっております。東京 RC から参りました。地区には何人か副幹事がありますが、私はその中でも中央区分および千代田 7 クラブの担当をさせていただいております。今年度よろしくお願いたします。



会長報告 海江田 健司会長

- ・地区より委嘱状が届いております。職業奉仕委員：渡辺会員
- ・6/30 付で退会されましたチャーターメンバーである八木 壮一さんに本日お越しいただきました。長きに渡りクラブにご尽力いただいた感謝をお伝えしたく、記念品をお渡しします。



挨拶 八木 壮一様

最初の 4 人の創立メンバーの 1 人だったのですが、80 歳を過ぎまして、退会させていただくことになりました。長い間皆様いろいろとありがとうございました。ロータリーについてはいろんな思い出がありますが、それは私なりに自分の中に収めておきたいと思いません。今後共よろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございました。



幹事報告 中野 広行幹事

- ・8 月度理事役員会の議事録を配布しました。
- ・次週 8 月 28 日は、赤坂浅田にて 12 時～、納涼家族親睦会を開催します。出欠連絡まだの方は本日締め切りですので、事務局までお知らせください。
- ・親子はねやすめ基金へのご協力ありがとうございました。

納涼家族親睦会のご案内 渡辺親睦活動委員長

納涼家族親睦会を 8 月 28 日に行います。今回赤坂にある「浅田」という加賀料理を提供しているお店で皆様と食事を楽しみたいと思っております。今年能登半島地震があり、色々困っている方がいらっしゃいます。美味しい食材を御馳走になることによって、間接的ではありますが、我々お茶の水 RC として石川を応援したいという気持ちでこのお店を選びました。奮ってご参加ください。

ロータリーの友 8 月号の紹介 高山 肇会員

今月号は盛沢山で役に立つ情報ばかりですが、会員増強に繋がる情報が沢山載っています。巻頭の「新しいクラブ、新しいスタイル」をぜひお読みいただきたいと思っております。前半は、新しく生まれてス

タートしたばかりのクラブが 4 つ紹介をされています。夜間の例会、月に 2 回の開催、食事なしがほとんどです。色々工夫をしながら新しいスタイルのロータリーを模索しているようです。それでもこの記事を読むとたいへん意欲的なクラブばかりで、ぜひご覧いただきたいと思っております。後半は、新しいスタイルのヒントがいくつか紹介されていますが、1 年間で 14 人増強の福井北 RC と 16 人増強の東京クロスシティ RC の手法が大変参考になると思っております。ぜひ熟読していただき、皆様と一緒に会員増強に繋げていきたいと思っております。

出席報告

会員数	36 名	ゲスト	1 名
出席	23 名	ビジター	4 名
ZOOM	0 名	合計	28 名

クラブ協議会 11:00~12:15



今後の予定

- 9/11 (水) (於)東京ドームホテル
オープン例会
一般社団法人障がい者自立推進機構
代表理事 松永 昭弘様
「アートで障がい者の夢を叶える世界を作る パラリンアート活動について」
- 9/18 (水) オンライン例会 卓話未定
- 9/25 (水) (於)ブックハウスカフェ
クラブフォーラム



ガバナー公式訪問卓話

第 2580 地区ガバナー・東京福生 RC 石川 彌八郎様

ガバナーの石川彌八郎です。多摩分区の福生クラブの所属です。造り酒屋をやっています、代々「彌八郎」という名前を襲名しています。生まれた時は「太郎」という名前でしたが、父が亡くなって彌八郎を襲名しました。先祖が筆まめで、代々250年くらい日記が残っていて福生市の収蔵庫に預かってもらっています。父が20年位前に「石川酒造文書」という本にまとめました。今日は9巻を持ってきていますが、9巻は祖父の日記です。祖父の16代石川彌八郎は、福生クラブの初代の会長でした。

年度テーマ「隔たりを取り除こう」「ご縁を大切に」ですが、祖父が初代の会長ときの福生クラブのクラブテーマでした。DEIも「隔たりを取り除こう」なのでそれに決めたのですが、「何と何の隔たりなのか」と考える様になりました。クラブに、チャーターメンバーが1人92歳の方がいまして、その先輩に「いったい何と何の隔たりを取り除こうとうちのお祖父さんは言っていたのでしょうか」と聞いてみました。

「戦後といえどもまだまだ戦前の教育の時代で、年功序列の社会だった。しかしRCというものは、この例会場に入ってきたら年齢の差や色々なことがあっても1回忘れて、皆同じ人間としてお付き合いをしようじゃないか、とお祖父さんは言って、隔たりを取り除こうと掲げたのではないかと」言っておりました。それからずっと「隔たり」について色々考えたのですが、結論から言うと、隔たりは取り除けないと行き着きました。何故かという、人間は肉体的に隔たっているからです。ですが、このRCで会員になり仲間になったわけですから、肉体は隔たっている、心、精神の部分だけでも1つになろうじゃないかということだと私は思いました。

ロータリーでは「親睦なくして奉仕なし」と言いますが、「親睦」の意味はいったい何なのか、考えれば考えるほど深いのですが「隔たりを取り除くこと」と「親睦」は、意味合いとしてほぼイコール、まったく同じ意味じゃないかと思えます。隔たりを取り除くための手段が親睦だと考えてもいいかもしれません。我々は、肉体はもちろん、考え方や精神もそもそも隔たっています。そういう人達が集まって、事業や奉仕活動をしよと言ったときに、ベクトルが合わなかったら友好的な奉仕はできません。そもそも違う人間、違う考えを、奉仕活動の方向性として一つにしようと考えを一致させることが、つまりは「隔たりを取り除こう」で、そこで「親睦」なんです。やりたいことは個々で別々にあると思えます。親睦を行い、心の隔たりを取り除き、気の置けない仲間になってくると、今年はこのテーマが挙がったのだから、じゃあ力を貸そうということになり、ロータリーの力を集中して友好な活動ができるようになります。ロータリーは1年で会長が代わるので、そうすると、去年は私の為に皆が協力してくれたから、私も今年はそちらを応援しようじゃないかと、そういう連続でひとつの方向性ができると思えます。

最近ロータリーであり言わなくなった言葉「I serve」職業奉仕の、自らの職業を通じて、団体としてではなく自分が社会に貢献する、という「I」ですが、RCとしてではなく、皆さん会員1人1人で地域の為に何かできるということもあるのではと思います。

私じつは6月末～8/2まで、近くの小学校で子供に水泳を教えていました。今の小学校の先生は忙しく、また水泳の専門家はほとんどいない状況です。私は大学の頃水泳をやっていたのでお手伝いを申し出ました。思いのほか校長先生や学校の先生が喜んでくれて、これはロータリーという「I serve」なんじゃないかと思いました。ロータリーの活動ではないのですが、精神はロータリーの精神で、自分が持っている技術や自分が培ってきた経験等を、別の世界で、職業とは別でもいいから何か役に立てることはないかというところを探し、それが活かされれば、ロータリーの「I serve」の具現化だと思います。

今年4年目ですが、学校のプールは今年で終わってしまいます。理由は、プールのメンテナンスや、水を入れたりするとすごく費用がかかるためです。これからは町の民間のスイミングスクールにバスで送っていき、子どもに水泳を教えることになりました。

プール授業の最後に毎年水泳大会でリレーをやっていますが、今年は学校でのプールが最後だからと言って、地元町会に声をかけ、町会役員メンバー2チーム組んでリレーに出て、大盛り上がりしました。

子供は社会の宝で、彼らがしっかり育たないと我が国は将来しっかりしていけません。子供は誰が育てるのかというと「学校」であり「家庭」であり両方大切ですが、もうひとつ忘れていけないのは「地域」です。つまり子供は「家庭」と「学校」と「地域」で、皆で育てていくものです。今回のプールのリレーは「学校」と「家庭」と「地域」が連携して行えたもので、新聞にも取り上げられました。これはロータリー活動と言えるのではないかと、我々が忘れてはいけない「I serve」だったと認識をしました。

年度テーマ「ご縁を大切に」。上山パストガバナー年度のテーマが「出会いを大切に」でした。まるっきり真似するのどうかと思ひ、ご縁を大切にと、あまり考えずに決めましたが「ご縁」とは何かということになります。

福生では7月13日～16日がお盆で、お施餓鬼があり、法話が「ご縁」でした。裏山に昔から沢があり、放置していたのを少し手入れしたら沢蟹が来るようになり、沢蟹を食べるために鳥が飛んできて、鳥が美しいと写真撮る人が集まり、だんだん賑わってきて、土産屋ができるようになったとのこと。沢は昔からありましたが、それにちょっと手を加えたことにより、沢蟹が、鳥が、写真好きが勝手に集まり、そして町興しになったという、こういう連鎖反応をひとつのご縁だと仰ってました。また、扇子も紙と竹と要の金属からできていますが、元々は別の物です。それが集まり、職人さんが形にして扇子となり、役に立つようになります。そもそも別の、全く関係ないものがご縁によ

て一か所に集まり、ご縁によって加工されて、世の中の役に立つようになると、これを総じてご縁だという話です。

これはロータリー活動も同じで、我々はご縁によって、この会場で時間と空間をともにしています。ここにいて知り合っただけだと紙と竹と要が一緒にあるだけで、出会ったところまでがご縁ではなく、我々何をしようか考え、今の社会に必要なもの、今の地域に必要なものは何なのかと議論して、皆で話し合い、親睦のもと隔たりを取り除き、ベクトルを一致させて活動をやりましょうと、それが紙と竹と要がぐっと一致になって役に立つという、そういうものをご縁だということだと思えます。

今日この日記も持って参りまして、初代会長の私の祖父の日記を紹介させていただきたいと思えます。

職業奉仕というものを感じる日記です。

昭和22年の元旦、戦後3年目です。

「敗戦3年後の新春、混沌とした敗戦後の祖国日本の政治経済に非常な深刻を極めている。背広は1着3000円、米は一升60円、不当ともいべき値段、3年目の日本の姿なのだ。もちろん高低はある、しかし右の値段が堂々と世情の現実の姿となっている哀れな祖国の姿なのだ。新年早々祝うべき祖国の春を迎えて、あまりにも汚れた醜い状況を記さなければならぬことは悲しい事である。この中からどのようにどんな力を出して祖国の再建をしたらよいのであろうか。等々悩みにはあまりにも果て無いものがある。」

敗戦3年後で、闇市やインチキ商売があり、騙されたら騙された方が悪いと、安心して生きていけない混沌とした社会状況でした。

160年前、幕末の頃から酒蔵をやっていますが、その前はずっと農業を行っていました。江戸中期後半くらいに新田開発があり農業をやっている、戦後は農地解放により田畑をほとんど手放しました。祖父はとても困り、また色々税金を払わなくては行けない状況でした。

「戦後における未曾有の大税の申告の日が近づいたわけだ。～税金を出して貧乏になっても、いつまでも商人としての信用確保、村民、社会人としての信用確保はまさに紳士的な行動でなければならない。社会が悪い、社会が悪いから俺も悪くなければ生きられない、と世間の人はみない。小生も幾度思っただろうか。しかし自分は清くいこうと思ってずっと戦争中7年間守ってきた。闇もやらなかった。正しき生活の上に強い基礎が立つのだ、と言ってきた。～自分もやろう、闇をやろう、新規授業でぼろい儲けをやろう、と思っ

た。しかし、やらないうちに自己の良心はまた清らかに行くと教えてくれる。インチキの商売でぼろい儲けをするよりも、親切な良心的な商売で長い信用を築くと教えてくれる。人が良心的にならざるに、良心的になることが長い信用確保の唯一の道だと教える。」商人とは悪儲けをするような人だと思われてはならない、良心的な心をもってあたらなければいけない、と随所に書かれていて、職業奉仕の考え方、精神であります。昭和22年に書かれたもので福生クラブができる前です。私の祖父は、ロータリーに入って職業奉仕の概念を得て職業奉仕を理解したというより、そもそもそういうものを感じていました。ロータリーが日本に来て東京で起き、福生に来て、福生でそれを知って、これは日本で広めなければいけないと思って、会長になったのだと思えます。

どこのクラブでも話題になることが「会員増強・退会防止」です。そのためにはロータリーの魅力を伝えることだと思えます。危ない商売ばかりやっている世の中でも、信用を得て代々長く商売を続けている、暖簾を保っているお店もあり、その人達を訊ねてみると、みんな良心的な考えで、つまり職業奉仕の芯をしっかり持ってやっています。それを持っているから、ずっと続けているということが本に紹介されています。私も、代々続いている店をやっていますが、絶対思っているのは、私の代で潰してはいけない、という気持ちです。お金も大切ですが、そのお金を払って頂く人の気持ち、どういうサービスをしてどういう気持ちで仕事をして、感謝の気持ちを持ってお金を払っていただくか、そういうお金を貯めていかないと、憎しみや恨みが募って息子や孫の代ではうまくいかないだろうと思えます。そうならないために、ロータリーの職業奉仕の概念が絶対大事だということを、そのコツがこれだ、ということ伝えれば、商売をやっている方はわかるはずであり、それで会員は増え、減ることもないかと思えますので、そういう根本的なところ伝えていくべきだと思っています。

本日は色々とお話を伺いましてありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



第 1379 回 2024 年 8 月 28 日 (水)

納涼家族親睦会

12 時～ (於) 赤坂浅田

司会進行
点鐘
ゲスト・ビジター紹介
幹事報告
親睦会司会進行

神保 宏充会員
海江田健司会長
神保 宏充会員
海江田健司会長
渡辺 和久会員



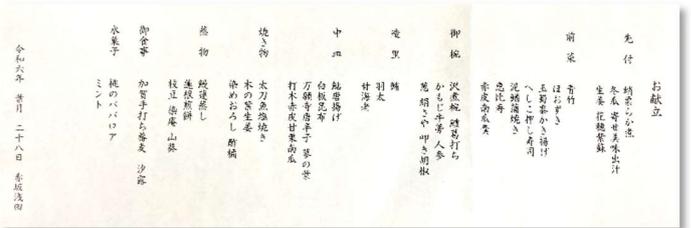
ゲスト紹介

大原会員奥様
加藤会員奥様
岡田会員奥様
岡田会員同行者

大原さとみ様
加藤 邦子様
岡田 恵美様
渡辺 順子様

幹事報告 海江田 健司会長

・次週 9 月 4 日は、東京ドームホテルでの例会です。
11:30 より理事役員会を開催しますのでご関係者の方はお集まりください。



見た目も美しい、伝統の加賀料理を堪能しました！